



## 東叢寺からのお知らせ

### 1月18日（水）大般若会：14時 護寺会総会：書面審議

本年こそは感染対策を講じたうえでこれまで通りの開催を希望しておりましたが、感染の増加を受け檀家の皆様の安全を最優先に役員の皆様のみでの開催とさせていただきます。

### 3月16日（木）友引11時：故、巖キミエ一周忌法要

当日は役員の方及び親族にての法要とさせていただきますが、お彼岸の際に墓地にてお参り頂ければありがたく存じます。

## 雲水日記9 開静（かいじょう）：起床



修行道場における起床はめっぽう早く夏（4月～9月）は3時、冬（10月～3月）は4時に起床します。殿司（でんす）という係が振鈴を振りながら道場を隈なく周り「開静—」と起こして回ります。堂内大衆は一斉に跳ね起きて布団を巻いて棚に放り上げ、衣を抱えて洗面、用便、着衣をわずか五分程で済ませなくてはならない。とまどいがちの新人はまだ衣の着替えにも慣れておらず速いなかで確実な動きが呑み込めず古参の雲水の無慈悲な罵声を起した早々浴びることになる。夏でも3時は真っ暗でここから早くて夜9時遅ければ12時過ぎまで日中は草刈りや畑仕事夜は座禅修行など自分の時間等一切ない長い1日が始まります。

### 台所係が道元に教えた禅の心理：他は是吾にあらず・更に何れの時をか待たん

曹洞宗の開祖、道元が中国に渡って修行していたある時。炎天下で椎茸を干している典座（てんぞ：台所係）がいました。自分よりもはるか年上に見受けられ年を問えば68歳とのこと。「あなたが雑用をしなくても若いものにやらせれば良いでしょう」と言ったところ「他は是吾にあらず」と一言。自分の仕事は自分でやらねばならない。「せめて夕方にやれば」と言えば「更に何れの時をか待たん」と一言。後で後でと言って今やらなければいつやるのか。道元禅師はこの老僧から禅の心理を学んだのでした。

### お墓や・仏壇、後継ぎ問題など仏事に関することはお気軽にご相談下さい。

後継者がいない際にお寺でも行政書士の先生による成年後見制度の無料相談などもおこなっております。その他、お墓の改修などに関してもお気軽にご相談頂ければと思います。

・その他ご意見ご要望ございましたら役員会でも検討致しますのでお気軽にご相談下さい。